



洪水対応演習実施

5月10日（金）に岩手河川国道事務所では、防災関係機関と連携して今年度の出水時の防災体制に万全を期するため

『洪水対応演習』を実施しました。

■演習対象

北上川上流域（岩手県内）

■実施内容

- ①雨量、水位、洪水予報、水防警報、被災状況等の伝達
- ②洪水対応演習（被害状況の把握、復旧計画策定、災害対策車の出動体制確認等）
- ③ダム関係事務所、自治体との連携
- ④防災エキスパート出動訓練
- ⑤避難判断情報の伝達訓練
- ⑥自治体へのリエゾン派遣訓練、現地調査員の派遣訓練

■岩手河川国道事務所（災害対策室の様子）



■岩手河川国道事務所 一関出張所（災害対策室の様子）



CCTVで河川状況を確認



水位確認



スマートフォンを活用して被災状況の伝達

当日は、出水期に備えて北上川上流の洪水予報及び水防警報等の情報が、関係機関や水防管理団体（市町村）へ正確かつ迅速に伝達されるよう演習しました。



編集後記

暖かくなり動物を多く見かけます。先日は堤防で狐がのんびりあくびをしていました。動物が道路を横切ることも多くなってきました。運転にはお気をつけください！（と）